

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和8年2月26日（木） 15:20～16:50

2 場所

岩手県立大船渡高等学校 大会議室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員（8名）

P T A会長	川 原 夕 輝 <欠席>
P T A副会長	大 森 如 恵 <欠席>
いわてNPO-NETサポート 事務局長	菊 池 広 人
大船渡市立第一中学校 校長	村 上 貴 彦 <欠席>
大船渡市社会福祉協議会 生活福祉課長	山 崎 高 範
大船渡市企画政策部企画調整課 課長補佐	佐 藤 大 基
北里大学海洋生命科学部 特任教授	笠 井 宏 朗
大船渡商工会議所 事務局次長	佐々木 晋
株式会社キャッセン大船渡 取締役	千 葉 隆 治 <欠席>
橋爪商事株式会社 代表取締役社長	橋 爪 博 志 <欠席>
大船渡市議会 議員	佐 藤 優 子 <欠席>
土地家屋調査士事務所 所長	金 哲 朗
定時制 支援協力者	今 野 洋 二
岩手県立大船渡高等学校 校長	石 井 美樹子

(2) 事務局（5名）

事務局長（全日制副校長）	平 田 勝 彦
事務局長（定時制副校長）	佐々木 均
事務局次長（事務長）	横 沢 知 幸
事務局員（全日制総務主任）	田 村 宏 光
事務局員（定時制総務主任）	佐 藤 麻美子

(3) オブザーバー（4名）

全日制教務主任	鈴 木 紗 季
全日制進路指導主事	沼 崎 昌 也
全日制生徒指導主事	大 関 直 美
全日制保健主事	法領田 恵

4 次第 ※司会：事務長

- ・ 昨年逝去された定時制教育振興会会長の 村上 精志 氏 への黙祷が捧げられた。
- ・ 定足数の確認が行われ、委員15名中8名の出席により委員会が成立したことが報告された。

(1) 開会のことば（全日制副校長）

(2) 校長挨拶

全日制では部活動での東北大会出場や全国大会への出場権獲得、海外派遣事業など生徒が多様な能力を発揮して活躍していることが語られた。定時制においても、4年制大学を受験し合格する生徒が出ていることや、68歳の生徒が入学して10代の生徒たちと数学を教え合うなど、前向きで温かい環境が築かれていることが紹介された。

(3) 協議

ア 令和7年度学校評価

【全日制】（副校長）重点目標ア～ウを説明

ア 主体的な学びの定着とICT有効活用による質の高い授業実践

学習力が高まったと回答した生徒が95.3%となり、目標を上回った。1人1台端末を活用した質の高い授業が定着している。

イ 文武一道を図り、充実した高校生活を体験させる

満足していると回答した生徒は91.9%であった。生徒の活躍を記した新聞記事などを校内に掲示することで、互いを認め合う雰囲気が醸成されている。

ウ 確かなキャリア教育の構築と生徒の希望進路の実現

希望する進路を達成した生徒は45.6%（1月末現在）であり、現在も大学受験など進路決定が進行中である。

【質疑応答と意見交換】

【笠井 委員】

定時制の高齢生徒の存在は、全日制を含め他の生徒にどのような影響を与えているか。

→【校長】

当該生徒が積極的に輪に入り、同級生と共にバドミントン大会に出場したり数学を教え合ったりすることで、内向的な生徒にもプラスに働いている。

【今野 委員】

個別最適な学びはどのように進められているか。

→【全日制教務主任】

理科での自由進度学習や、数学での動画を用いたマルチモーダル学習など、生徒が自身のペースで学べる授業スタイルを取り入れている。

【山崎 委員】

希望進路の達成基準について教えてほしい。

→【全日制進路指導主事】

具体的な志望校の合格ではなく、「4年制大学や短大に進学したい」といった大きな目標を達成できたかどうかで判断している。

【佐々木 委員】

ICT教育に関連して、生徒1人1台端末になり、勉強の仕方や授業内容に変化は見られるか。

→【校長】

生徒が端末に触れる機会が増え、発表会などで優れた成果物ができている。県からも本校のICTを活用した授業について、高い評価を受けている。

【山崎 委員】

進学に関する奨学金について、相談窓口があるので、必要に応じて活用してほしい。

【全日制】（副校長）重点目標エ～カを説明

エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる

いじめ対策として年3回のアンケートを実施し、認知したいじめに対しては組織的に対応し見守りを継続している。

オ 協働的な活動ができる豊かな人間力の育成

協働的な活動への参加割合は63.3%にとどまり、生徒全体に行き渡っていないことが課題である。

カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

不適切な指導の根絶と安心できる学校生活については、肯定的な回答が89.2%にとどまった。コンプライアンス意識の啓発を行っているが、生徒の不安を早期に把握する仕組みづくりが課題である。

【質疑応答と意見交換】

〔金 委員〕

ボランティア活動への参加の仕方について伺いたい。

→ **〔校長〕**

生徒会が主体となって自発的に呼びかけ100名以上が参加した事例があり、数字に反映されていない部分でも生徒の確かな成長が見られる。

〔今野 委員〕

スクールカウンセラーの配置について現状を伺いたい。

→ **〔校長〕**

県の事業で行われている。県からの配置となっており、定期的に来校していただいている（月1回）。定時制は、専門の機関やソーシャルワーカーを活用した。

〔笠井 委員〕

生徒はボランティア精神が育ってきているので、数字だけにとらわれずに、それについて記載すべきである。

コンプライアンスに関するアンケートの質問項目が幅広いため、生徒と共通認識を持つ必要があるのではないか。生徒が不安を持っているということなのか。

→ **〔校長〕**

本校の教職員についてコンプライアンス的に問題があるわけではなく、コンプライアンスを遵守して、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を目指している。

〔山崎 委員〕

「安心して学校生活を送れている」が100%に達していない点について、未達成の10.8%の理由を深掘りし、なぜ不安を感じているのか要因を把握すべきと考える。

〔金 委員〕

生徒を個人として尊重するとあるが、生徒と先生の信頼関係を今後も築いていってもらいたい。

〔佐々木 委員〕

中学校だと地域の行事に関わる生徒がいるが、高校生も積極的に関わってほしい。

【定時制】（副校長）重点目標ア～ウを説明

ア ICTを活用した、生徒が「わかる授業」の実践

「授業が分かりやすい」と答えた生徒が100%となった。学び直しの時間を重視して基礎基本の徹底から入り、ICTを用いた発表機会を設けている。

イ 個々の生徒に応じた進路指導、進学・就職対策の充実

進路指導については、大学進学や専門学校など幅広い目標に対して全教職員で対応している。

ウ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間の育成

自立した人間の育成として、防災体験学習やインターンシップ等、地域と連携した活動を実施し、評価は100%であった。

【質疑応答と意見交換】

〔笠井 委員〕

ICT活用による教員の負担は増加していないか。

→ **〔英語科（全日制教務主任）〕**

授業準備の負担は大きいですが、生徒の理解度や意欲が向上し、学びを引きつけられるメリットの方が上回っていると感じている。

→ **〔理科（定時制総務主任）〕**

ICT活用によって難しいと思われる実験が手軽に見ることができるので、メリットの方が大きいと感じている。

〔佐々木 委員〕

企業説明会を実施予定である。職業観や勤労観についてお手伝いしたいので、お声がけをしてほしい。

【定時制】（副校長）重点目標エ～オを説明

エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる

いじめの認知件数は0件であり、生徒・保護者からの相談体制や安心感の評価は100%であった。

オ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する

週1回の職員間での情報共有やコンプライアンス研修を通じた適切な指導の徹底が成果として表れている。

【質疑応答と意見交換】

〔今野 委員〕

休学の状況はどのようになっているか。

→〔校長〕

在籍18名中、5名が休学している。対応の難しさがあるのが現状である。

イ その他

特になし

(4) 報告

ア 【全日制】高等学校DX加速化推進事業（副校長）

- ・教職員の研修や、大学訪問を通じたAI・データ学習、情報モラル講座などを実施した。
- ・500万円の予算を活用して大型モニターなどの機材整備を行った。
- ・今後の課題として、段階的な指導体制の整備やDX専用教室の設置などが挙げられる。

イ 【全日制】海外派遣事業【ハワイ、韓国】（全日制教務主任）

- ・ハワイと韓国への派遣事業を実施した。生徒たちは語学の壁を越えたコミュニケーションを経験したほか、韓国の生徒とはオンラインで震災や復興に関する意見交換を行い、大きな自己変容を遂げる機会となった。

ウ 【定時制】探究的な学びの推進（副校長）

- ・防災教育、キャリア教育、食生活と健康に関する取組を実施した。具体的には、被災地の街歩き、地域の事業所見学、インターンシップ、農園での収穫や弁当作りコンテストなどを行った。

(5) 連絡

令和8年度学校運営協議会委員について（全日制副校長）

来年度の委員の継続意向の確認について説明した。継続の可否について、所定の様式にて事務局へ提出するよう案内を行った。

(6) その他

特になし

(7) 閉会のことば（定時制副校長）